



**アートスパークホールディングス株式会社**  
**2013年12月期**  
**第1四半期決算説明補足資料**

# 目次

## 2013年12月期 第1四半期累計期間 業績ハイライト

連結損益計算書

連結貸借対照表

セグメント別損益の状況

## 2013年12月期 事業セグメント別の概況

コンテンツソリューション事業

クリエイターサポート事業

UI/UX事業

アプリケーション事業

## 2013年12月期の業績見通し 今期の見通し〈通期業績予想〉

2013年12月期 第1四半期累計期間  
業績ハイライト

# 連結損益計算書（2013年12月期第1四半期累計期間）

（期間：2013年1月1日～3月31日）

単位：百万円

	13年12月期/1Q
売上高	1,152
営業損益	235
経常損益	231
四半期純損益	203

注：前期実績がないため、前年比較を行っておりません。

当第1四半期において、通期業績予想値を超える利益を計上しておりますが、第2四半期以降に予定していた、利益率の高いUI/UX事業のライセンス収入の一部が当第1四半期での売上計上となった事などによるものです。

通期での業績見通しに対して、収益の計上時期が早まったものであり、業績予想の修正はございません。

# 貸借対照表（2013年12月期第1四半期累計期間）

単位：百万円

	12/12末	13/3末	増減		12/12末	13/3末	増減
流動資産	2,158	2,410	252	流動負債	1,022	1,163	141
現預金	1,294	1,351	57	短期借入金	438	540	102
売掛金	561	637	76	その他	583	623	39
たな卸資産	192	295	103	固定負債	653	623	△29
その他	109	125	15	長期借入金	474	418	△55
固定資産	1,856	1,984	128	その他	179	205	26
有形固定資産	70	66	△3	負債合計	1,675	1,787	111
無形固定資産	979	992	13	株主資本	2,209	2,412	203
投資その他の資産	806	925	118	その他	139	204	64
繰延資産	10	9	0	純資産合計	2,349	2,617	268
資産合計	4,024	4,405	380	負債純資産合計	4,024	4,405	380

注：短期借入金には1年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

## 主な増減内容

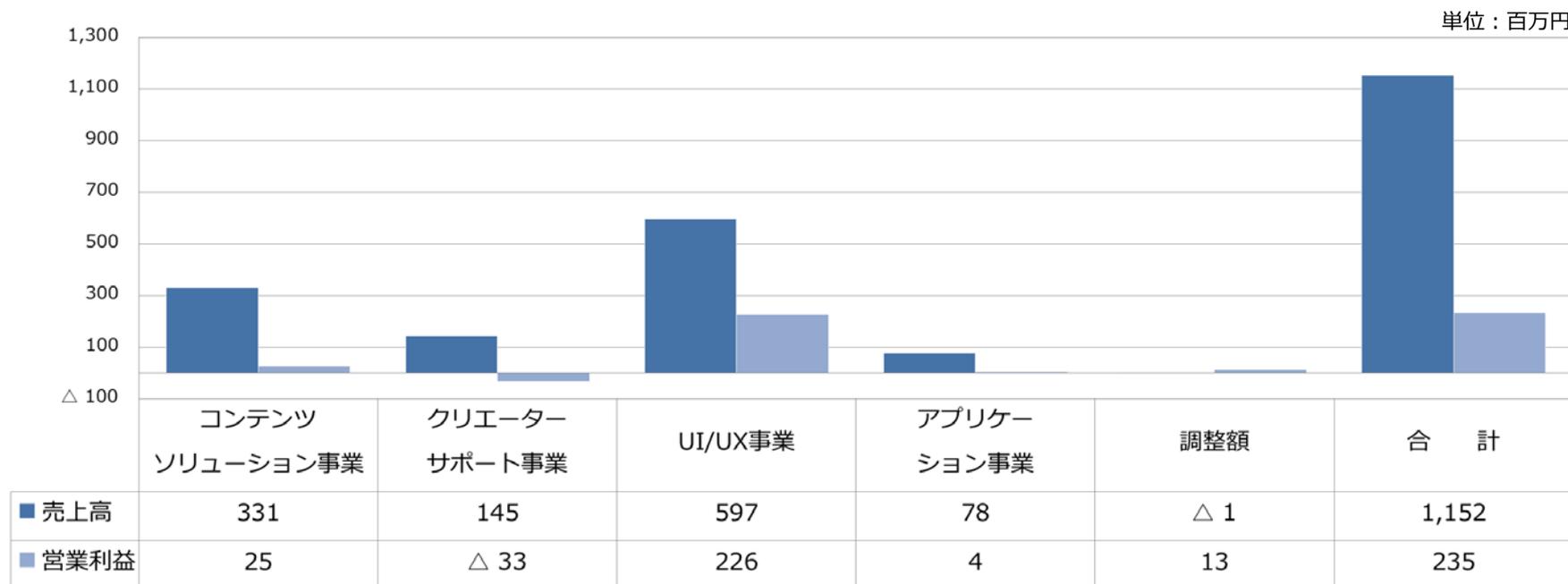
受託開発案件の増加に伴う仕掛品の増加

投資有価証券の時価評価による投資その他の資産の増加

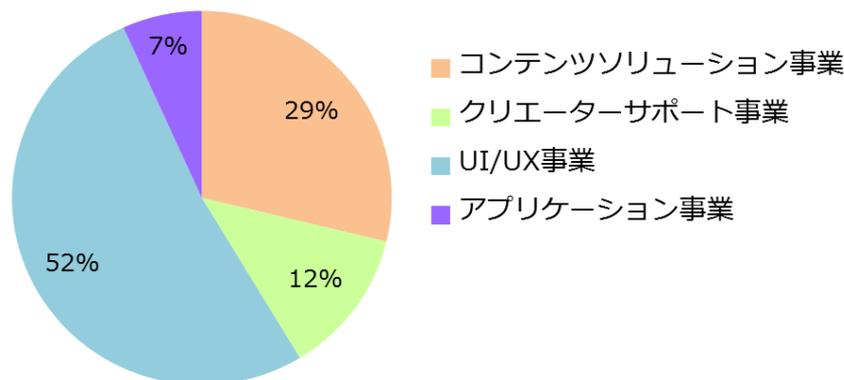
短期運転資金としての借入増加

# セグメント別損益の状況

当連結事業年度よりセグメント区分の一部変更及び名称の変更を行っております。  
詳細は事業セグメント別の概況を参照下さい。



売上高構成比（連結調整額除く）



# 事業セグメント別の概況

# コンテンツソリューション事業-第1四半期 Topics

## ・旧電子書籍サポート事業

単位：百万円	12/12期	13/12期 1Q
売上高	986	331
営業利益	57	25

注) セグメント区分の変更により増加した当四半期の売上高は26百万円です。

- ・当事業年度より、セグメント区分の変更及び名称の変更をしております。
  - ・事業区分の変更  
当社グループのグラフィクス技術による、総合的なコンテンツ関連ソリューション提供を強化するため、従来の電子書籍サポート事業に加え、クリエイターサポート事業における法人向けグラフィクス関連活動を再編し、そのロイヤリティ収入と業務受託収入が移行しております。
  - ・名称の変更  
上記の区分変更に伴い、コンテンツソリューション事業に名称変更いたします。
- ・事業概況  
電子書籍サービスの多様化に伴い、スマートフォン市場での収益確保は成長途上。  
フィーチャーフォン向け市場でのシェアは従来水準を維持。
- ・トピック
  - Android端末向け電子書籍ビューアアプリ『BS Reader』が Google Playで200万ダウンロードに (2013.2)

# クリエイターサポート事業-第1四半期 Topics

単位：百万円	12/12期	13/12期 1Q
売上高	502	145
営業利益	△451	△33

注) セグメント区分の変更により減少した当四半期の売上高は26百万円です。

- 当事業年度より、セグメント区分の変更をしております。

## 事業区分の変更

法人向けのロイヤリティ収入と業務受託収入がコンテンツソリューション事業へ移行しております。

- 事業概況

高機能を搭載した新製品の市場投入効果で、CLIP登録者数は28万人に増加（2013年3月末）。継続した開発投資や新製品の立ち上げを継続する一方で、投資の選択と集中によるコスト削減効果が表れ始め、収益力強化に引き続き注力してまいります。

- トピック

- 高機能を搭載した「CLIP STUDIO PAINT EX」パッケージ版の販売を開始（2013.2）



CLIP STUDIO PAINT EX

# UI/UX事業（ユーアイ/ユーエックス事業）-第1四半期 Topics

旧ミドルウェア事業

	12/12期	13/12期	1Q
単位：百万円			
売上高	798		597
営業利益	△155		226



UIイメージ画像

- ・当事業年度より、セグメント名称の変更をしております。

旧来、ミドルウェア事業としてきた事業セグメントにおいて、モバイル向けミドルウェア事業からUIソリューション事業へとその中心が変化してきた為、セグメント名称を「UI/UX事業」に変更いたしました。

UI/UX事業とは、ユーザーと機器並びにソフトウェアとの間で接点となり、相互がやり取りをするための一連の要素であるUI（ユーザーインターフェース）と、機器やソフトウェアを通じて得られる楽しさや気持ち良さ等の体験であるUX（ユーザーエクスペリエンス）とを一体として考え、デザインとソリューション提供から実装開発までをトータルで行う事業です。

- ・事業概況

従来より1月から3月は売上計上が集中する傾向のある四半期ですが、それに加えて第2四半期以降で計画していた製品ライセンス収入が当四半期で売上計上となりました。

- ・トピック

- JVCケンウッドのAVナビゲーションシステム「彩速ナビゲーション」にエイチアイの3Dグラフィックス描画エンジン「マスコットカプセル イラプションST」が採用（2013.3）

# アプリケーション事業-第1四半期 Topics

単位：百万円	12/12期	13/12期 1Q
売上高	363	78
営業利益	△199	4

- ・ 事業概況  
事業規模の縮小を決定しております。  
継続案件となっている一部の受託開発やサービス運営売上を計上しています。
- ・ トピックス
  - エイチアイ、KDDIと共同運営するエクササイズアプリ  
「au Smart Sports Fitness」iOS版サービス開始（2013.3）

# 2013年12月期の業績見通し

# 今期の見通し <通期業績予想>

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第2四半期 (累計)	1,750	△83	△87	△89	円 銭 △13.41
通期	3,700	100	95	90	13.56

業績予想の変更はございません。

**【IR窓口】 広報・IR課**

Tel: 03-3710-2985

Email: [ir@artspark.co.jp](mailto:ir@artspark.co.jp)

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2012年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。